

TOP > 記事一覧 > (アロー君) 車いすバスケットボールの天皇杯にブリヂストンの従業員2名が参加！

(アロー君) 車いすバスケットボールの天皇杯にブリヂストンの従業員2名が参加！

2023.02.10

やっほ〜。年が明けてあっという間に1カ月が経過した今日この頃。

今回は先月、東京体育館で行われた「天皇杯 第48回日本車いすバスケットボール選手権大会」をレポートするよ！なんと日本一を決める試合にブリヂストンの従業員2名の選手が参戦したんだ。その内の一人は、先日Arrowのインタビューに応じてくれた(株)ブリヂストン モータースポーツ企画推進部 スポーツイベント推進課の北風さん。北風さんはチームブリヂストン アスリート・アンバサダーとして広くスポーツを活用したブリヂストンのファンづくりを行っていて、今回は、埼玉ライオンズのチームの一員として出場するということもあり、ブリヂストンの社内応援団が結成されていたんだ。2日間で100人を超えるチームメイトのみんなが応援にかけつけ、試合会場は熱気に包まれていたよ。



ブリヂストン アスリート・アンバサダーの鈴木世奈さん（アイスホッケー）が誘導係を行う豪華な応援団



障がい者も健常者も一緒にプレーする車いすバスケットボール

車いすバスケットは車いす同士が激しく接触するスポーツで迫力満点。そんな車いすバスケットだけど、なんといっても醍醐味は、障害の軽い人と重い人が必ず一緒にコートでプレーをしているということ。障害の重さによって各選手に「持ち点」が与えられていて、試合に出ている選手の合計が14点以内に収まるようにしなければならないんだ。最も軽い障害の選手の持ち点は4.5点で、障害が重くなるにつれて0.5点刻みで持ち点が減っていく仕組みになっているから、障害の軽い選手ばかりを一度に出場させることができないんだ。今回の天皇杯もそうだったんだけど、健常者も持ち点4.5点で出場できる大会もあるから、インクルーシブなスポーツになっていると感じたよ。ちなみに、北風さんの持ち点は4.5点だから、軽い障害の選手とみなされているということなんだね。

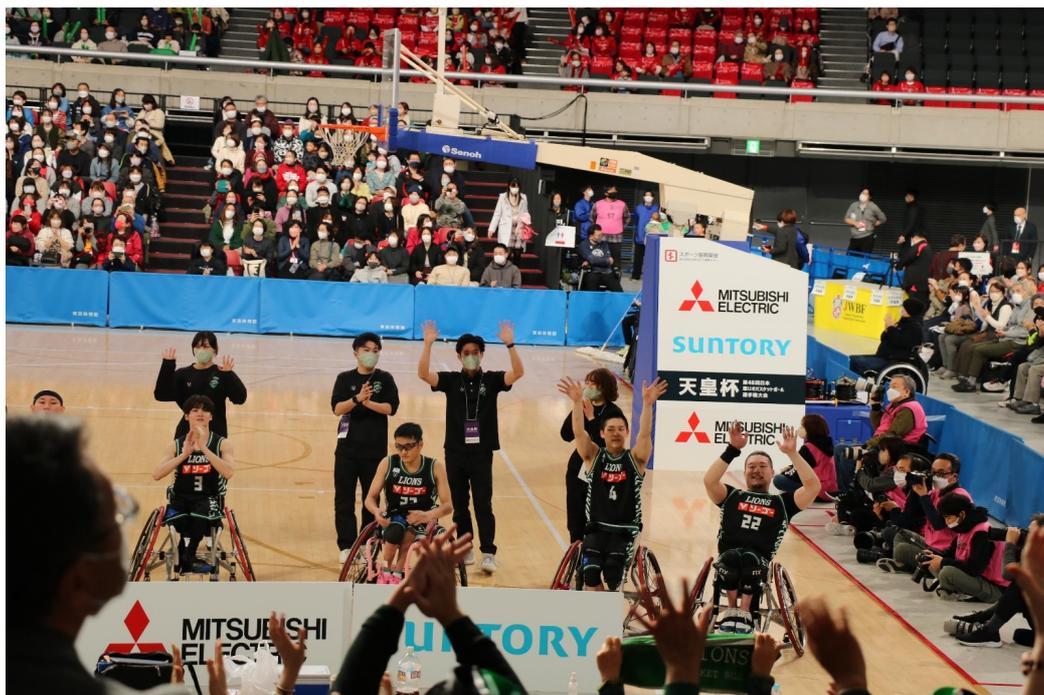


フリースローを決めた北風さん

いよいよ試合が始まると、日本一のチームを決定する天皇杯というだけあって、コートの中を縦横無尽に動き回る選手たちのプレーは見ていてとってもスピード感があったよ。1人の選手が壁を作り、別の選手がその壁を使ってディフェンスからフリーにする「スクリーンプレー」では車いす同士が接触するシーンもあって、迫力満点！北風選手がシュートを決めると、応援団の席からは一際大きな歓声があがって、とっても盛り上がっていたよ。

北風選手の所属チームの結果は！？

そして、北風選手の所属する埼玉ライオンズは20日の準決勝で優勝したチームに敗れたものの、21日に行われた3位決定戦では見事に勝利したんだ！応援団で参加していたチームメイトのみんなも、1つ1つのプレーに惜しめない拍手を送っていて、ライトアップされたキラキラのコートが余計に輝いて見えた気がしたよ。埼玉ライオンズのみなさん、北風さん、素晴らしいプレーをありがとうございました～！



試合終了後に応援団席の声援に応える埼玉ライオンズのみなさん

日本一を決める天皇杯に参戦したのは北風選手だけではなく！

実は今回、北風さん以外にも、ブリヂストンの従業員として試合に出場していた選手がいたんだ。

それは、(株)ブリヂストン 中日本生産部門 総務部 彦根工場で購買の業務を担当している小島慎弥さん。小島さんはLAKESHIGA BBCというチームの一員として天皇杯に参戦していたよ。小島さんは、2007年にブリヂストンに入社し、工場の設備や小規模工事を発注する購買の業務をしながら、13年程車いすバスケットボールを続けているんだって。そんな小島さんにも業務と競技生活を両立するための工夫や、そのやりがいについてお話を聞かせてもらったよ。



中日本生産部門 総務部総務課の小島さん

—小島さん、業務と車いすバスケットボールの競技生活を両立するための工夫を教えてください。

小島 週2回、水曜日と土曜日に練習をしているのですが、水曜日の練習時間を確保するために、先々を見据えてスケジュールを組み立てて仕事をしています。また、両立にあたっては、彦根工場のチームメイトの競技活動への理解や支援にも助けられています。本日のように平日に大会がある場合は、私が不在にしている間の購買発注先からの問合せを円滑につないでもらったり、ハードの面でも工場内を車いすで移動しやすいように新しくスロープを設けてもらったりと、感謝は尽きません。

—自身の仕事の段取りだけではなく、周囲の協力を得ることも大切ですね！周囲の協力を得るために心掛けていることがあれば教えてください。

小島 やはり、相手の立場を尊重してコミュニケーションを取るのだと思います。これは、私が今まさに業務と車いすバスケを並行してやっているからこそ、意識して実践できていることかと思っています。車いすバスケで勝つためには、相手の意図を察知して戦い方を決めることが非常に重要なんです。それは職場で仕事を進めるときも一緒です。上司や同僚の話でも購買発注先の業者の方でも、「その人が本当に言いたいことは何か」という意図を把握することで相手と自分がwin-winとなり、お互いに気持ちよく働けるのではないのでしょうか。実際に購買業務の価格交渉では、相手の意図を察知しながらブリヂストンと先方にとって無理のない”落としどころ”を探る必要があります。車いすバスケの経験が生かされていると思っています。



小島さんが彦根工場で業務をしている様子

一車いすバスケットでの経験が、まさに担当業務に役立っているんですね！最後に、今後お仕事や車いすバスケットで実現したいことについて教えてください！

小島 まず、車いすバスケットでは、特に若い人たちに向けて車いすバスケットの認知を拡大していきたいです。知ってもらう事で、面白そう、プレーしてみようかなと思ってくれる人も出てくると思っています。「近畿車いすバスケットボール連盟」の会長を務めているので、近畿から日本代表を輩出できたら嬉しいですね。よく障害のあるお子様の親御さんから「車いすバスケットボールを始めて、子供が明るくなった」という声をいただくのですが、とても励みになります。そして、彦根工場の仕事においては、購買の業務を通じてタイヤ事業に貢献し続けることはもちろんですが、私が車いすバスケットボールと業務を両立することで彦根工場が盛り上がってくれたら最高ですね。

今回、車いすバスケットボールの天皇杯の取材や小島さんへのインタビューを通じて、挑戦し続ける人には、応援してくれる人がいるということを実感できたよ。車いすバスケットボールだけに限らず、色んな現場での活動が、すべての人が自分らしく生きることにつながっているんだなあと感じた瞬間だったんだ。

これからも、ブリヂストンのさまざまな取り組みを紹介していくので、よろしくね～！
それでは、またね～。

関連記事



～世界で活躍するパラアスリートを目指して～働きながら車いすバスケットボールで世界を目指す北風大雅さん



「その『配慮』は本当に正しい？」－DE&Iを考えるオンライントークショー－Dream Studio#6公開！



「異才たちのアート展2022」とその関連イベントを開催しました

関連タグ: [#チームメイト](#) [#多様性](#) [#働き方](#)

👍 いいね！ (104)



みんなからのコメント待ってるよ！

投稿名をご記入ください例) アロー君

コメントをご記入下さい。

※「コメントする」を押してもすぐにはコメントは反映されません。
管理者にて確認の上、反映されます。コメント掲載基準については [こちら](#) をご覧ください

コメントする

コメント (1)

トラッキー

2023.02.15 06:59

北風さん、小島さん、日本一を争う舞台なんてすごいです！
これからも応援しますので、頑張ってください。

返信する



～世界で活躍するパラアスリートを目指して～
働きながら車いすバスケットボールで世界を...

【師匠と弟子】施設の立ち上げで培われた確かな信頼関係—Bridgestone Innovation Gallery...



メルマガ会員登録

メルマガ会員の方には、最新の記事やWeb版アクセスランキングなどの情報をいち早くお届けいたします。

メルマガ登録



＞ 記事一覧

＞ Arrowについて

＞ サイトマップ

＞ メッセージボード

＞ アンケート

＞ ライブラリ

＞ ご意見・ご要望

グループ報Arrow発信元/お問い合わせ先
(株)ブリヂストン Arrow編集部
i.arrow@bridgestone.com



©2023 Bridgestone Corporation